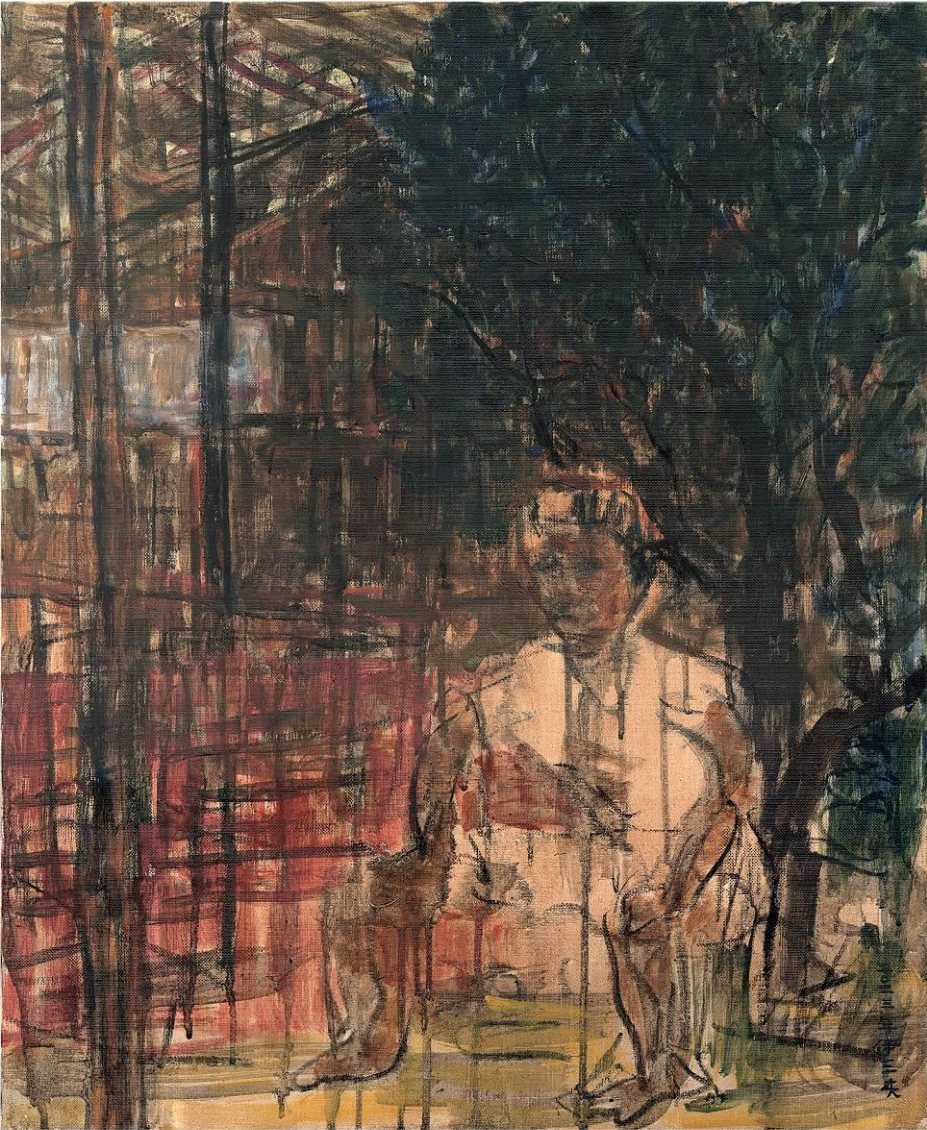


報道関係各位◎展覧会のご案内



「塩と杉」 油絵 2022年 紙 30x40cm

牧野 伊三夫 展 「塩と杉」

2023年 5月16日(金) — 7月17日(日)

開館時間 9-21時 月曜日休み(祝日は除く) 入場無料 会場 生活工房ギャラリー (三軒茶屋駅直結 キャロットタワー3階)

生活工房
Lifestyle Design Center

主催：公益財団法人世田谷区文化振興課 生活工房 協力：あきむらび、新三軒茶屋、豊洲直結、日田やぶつぐり 後援：世田谷区、世田谷区教育委員会

画像① 展覧会ポスター

本展に関するお問い合わせ：生活工房 石山那緒子(広報担当)、大竹嘉彦(展覧会担当)
154-0004 東京都世田谷区太子堂4-1-1キャロットタワー
TEL/03-5432-1543 Email/info@setagaya-ldc.net

Summary (要約版をP4に掲載しています)

海辺の製塩所と、山の林産地をたずねて

太古の昔から、人は自然と共生し、その恵みを受けて命をつないできました。本展は画家・牧野伊三夫が、そうした人々の営みを見つめるなかから生まれた作品と活動を紹介するものです。

展示前半の塩のパートでは、海辺の製塩所から生まれた新作絵本『塩男』(あかね書房)を取り上げます。福岡県の糸島半島にある製塩所を取材して描いた同作のスケッチや原画などの関連資料とともに、全長 10m を超える壁画によって作品の世界を展示紹介します。

展示後半の杉のパートでは、岐阜県の高山市と大分県の日田市で牧野さんが取り組む活動を紹介します。

今から 13 年ほど前、アートディレクターの友人に連れられて高山市の老舗家具メーカー・飛驒産業を訪れた牧野さんは、やがて同社の広報誌の制作に携わるようになり、その後キッチン用のワゴンをデザインするなど、さまざまな活動へと発展しました。

一方日田市には、牧野さんは最初、山で働く木こりの人たちを描くために訪れました。そして、地元の人たちと地域の林業を応援する「ヤブクグリ」という会を発足することになります。「いま、森を見よ！」をスローガンにかかげて行う、「林業体験弁当」の商品開発や家具づくりなどのユニークな活動を紹介します。

私たちの暮らしは今、効率や利便性を求めることが当たり前となってしまいました。本展をきっかけに、いま一度生活の原点に立ち返り、その豊かさについて思いをめぐらせていただければ幸いです。



画像② 絵本『塩男』 2023年、あかね書房

※会期中、牧野伊三夫関連書籍を TSUTAYA 三軒茶屋店(生活工房ギャラリー階下)にて販売予定

画像③ 「日田の林業とヤブクグリ」 2014年 団体「ヤブクグリ」をテーマに制作した木版画



Profile

牧野 伊三夫 まきの いさお

画家。1964年福岡県北九州市生まれ。多摩美術大学卒業後、広告制作会社サン・アドにデザイナーとして入社。1992年退社後、画家として活動を開始、油彩、水彩、コラージュ、壁画、音楽家とのコラボレーションなどの作品を全国各地で発表する。1999年、美術家たちと同人誌『四月と十月』を創刊、現在も刊行中。画業とともに、旅や料理、友人との交流など日常の暮らしを題材に執筆活動も行う。主な著書に『かぼちゃを塩で煮る』（幻冬舎）、『画家のむだ歩き』（中央公論新社）、『牧野伊三夫イラストレーションの仕事と体験記 1987-2019』（誠文堂新光社）、『アトリエ雑記』（本の雑誌社）など。東京ADC賞、朝日広告賞、読売広告賞ほか受賞多数。



Events

※トークのご参加は事前の申し込み等不要です。直接会場(生活工房ギャラリー)へお越しください。

※混雑状況により入場制限を行う場合があります。

6月10日(土)「またいちの塩」出張販売 & ギャラリートーク

『塩男』のモデルとなった、福岡県の糸島半島にある製塩所「工房とったん」の平川秀一さんにお越しいたぎます。平川さんがつくる「またいちの塩」の販売と、牧野さんとのギャラリートーク(対談)を行います。

販売 11:00~16:00

トーク 16:00~(約30分予定)



6月17日(土)「きこりめし弁当」出張販売 & ギャラリートーク

大分県日田市から、「きこりめし弁当」の製造販売を行う寶屋の店主・佐々木美徳さんと、ヤブクグリ事務局の黒木陽介さんにお越しいたぎます。「きこりめし弁当」やヤブクグリグッズの販売と、牧野さんとのギャラリートーク(鼎談)を行います。

販売 11:00~16:00

トーク 16:00~(約30分予定)



「きこりめし弁当」の販売は完全予約制です(数量限定、申込先着順)。5月25日(木)12時より、生活工房WEBサイトにて受け付けます。お一人一個まで。詳細はWEBサイトにて、[ご確認ください](#)。

画像④「日田きこりめし」2012年
杉の丸太に見立てた牛蒡を小さな木製のノコギリで切って食べる日本初の林業体験弁当
企画:ヤブクグリ生活道具研究室 販売:寶屋

Outline

牧野伊三夫展 塩と杉

概要 海辺にある製塩所を取材して描いた絵本や絵画作品、林産地での活動を通じて仲間たちと制作した家具など、自然のなかでの人の営みをみつめる牧野伊三夫さんの活動と作品をご紹介します。

会期 2023年5月16日(火)～7月17日(月・祝) 9:00～21:00
月曜休み(祝日は除く)

会場 生活工房ギャラリー(三軒茶屋・キャロットタワー3階)
154-0004 東京都世田谷区太子堂4-1-1
TEL 03-5432-1543 www.setagaya-ldc.net

料金 入場無料

交通案内 東急田園都市線・世田谷線「三軒茶屋駅」直結
東急・小田急バス「三軒茶屋」停留所そば

主催 公益財団法人せたがや文化財団 生活工房
協力 あかね書房、新三郎商店、飛驒産業、日田ヤブクグリ
後援 世田谷区、世田谷区教育委員会



画像⑤
飛驒産業広報誌『飛驒』創刊号
2011年



画像⑥
「YAECA」と「メゾンほこしま」の布を座面に
あしらった日田杉製のミシン椅子
2022年 ヤブクグリ生活道具研究室製品

「牧野伊三夫展 塩と杉」 広報用画像の貸し出しについて

展覧会広報用の画像をご用意しています。ご希望の際は貸出条件をご確認いただき、下記①～⑨の必要事項を明記のうえ、Eメールにてお申し込みください。

なお、本展紹介記事をご掲載いただく際は、恐れ入りますが情報確認のため、掲載前に校正原稿をお送りください。

また、掲載後、掲載誌、URL等を広報担当宛てにお送りいただきますようお願い申し上げます。

【貸出条件】

◆画像は展覧会紹介の目的のみにご使用ください。

◆画像データは、ご使用后必ず消去してください。

◆画像データを第三者に渡すことを禁じます。

【必要事項】

- ① 媒体名 (雑誌名、番組名、WEBサイト名など)
- ② 媒体種別 (新聞、雑誌、フリーペーパー、テレビ、ラジオ、WEBサイトなど)
- ③ 発売、放送、更新等予定日
- ④ 御社名
- ⑤ ご担当者名
- ⑥ ご住所
- ⑦ Eメールアドレス
- ⑧ 電話番号
- ⑨ ご希望の画像番号

- | | |
|-------------------------------------|-----------------------|
| <input type="checkbox"/> 画像① (P1掲載) | 展覧会ポスター |
| <input type="checkbox"/> 画像② (P2掲載) | 絵本『塩男』(あかね書房) 2023年 |
| <input type="checkbox"/> 画像③ (P2掲載) | 木版画「日田の林業とヤブクグリ」2014年 |
| <input type="checkbox"/> 画像④ (P3掲載) | 「日田きこりめし」2012年 |
| <input type="checkbox"/> 画像⑤ (P4掲載) | 飛驒産業広報誌『飛驒』創刊号 2011年 |
| <input type="checkbox"/> 画像⑥ (P4掲載) | 日田杉製のミシン椅子 2022年 |

生活工房 広報担当 石山 行き
Email info@setagaya-ldc.net